

①ユニバーサル

支える人と支えられる人という一方の関係性を超え、双方向に支え合うこと  
(障壁や困難の解消、格差の是正、機会の均等、交流の促進、自然との共生など)

②ウェルネス(健康)

誰もが幸せを感じながら生活し、生涯現役として活躍できること  
(身体的な健康、精神的な健康、社会的な健康など)

③スマート(快適・先端)

先端技術等を活用し、まちの魅力・快適性を高めていること  
(利便性の向上、生産性の向上、人材育成、ゼロカーボンなど)

●人口減少の緩和につながるもう一つの方策に、若者の道外流出の抑制と国内外から企業や人材の流入の促進があり、札幌の強みである分野や今後成長が期待される分野の産業が成長している③とともに、新しい技術やアイデアで社会課題の解決に挑戦するスタートアップが活発になっている③ことが重要。

●また、地域経済を支える中小企業や商店街などが生産年齢人口の減少を克服していること③も重要。

●さらに、女性や高齢者を含め希望する誰もが安定して働ける仕事に就いている①とともに、価値観やライフスタイルに応じて多様で柔軟な働き方ができる環境が整っていること②が重要。

SWOT	Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
S×O	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市機能の集積</li> <li>高い都市ブランドイメージ</li> <li>食の魅力</li> <li>観光満足度の高さ</li> <li>ICT関連産業の振興の歴史・企業集積</li> <li>国からスタートアップ・エコシステム推進拠点都市に認定</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術の急激な進歩</li> <li>国によるSociety5.0の推進、デジタル庁設置の動き</li> <li>北海道新幹線の札幌開業</li> <li>日本一の食糧自給率(北海道)</li> </ul>	
W×O		<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの市民所得の低さ</li> <li>生産年齢の減少、少子高齢の人口構造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル技術の急激な進歩</li> <li>国によるSociety5.0の推進、デジタル庁設置の動き</li> </ul>	
W×T		<ul style="list-style-type: none"> <li>1人当たりの市民所得の低さ</li> <li>女性、高齢者の有業率の低さ</li> <li>男性、女性ともに長時間労働の傾向</li> <li>子育てへの負担感を抱える市民の増加</li> <li>生産年齢の減少、少子高齢の人口構造</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>全国な少子・高齢化の進行</li> <li>感染症のパンデミック</li> </ul>

■基本目標10 強みを生かした産業が経済をけん引し、誰もがチャレンジできるまち  
⇒ 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち

- ※現目標4 強みを生かした産業が経済をけん引するまち と
- 現目標7 強みを生かし世界とつながるまち を一本化

■基本目標11 多様な主体と高い生産性が経済成長を支えるまち  
⇒ 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち

- ※現目標5 様々な連携により産業が高度化するまち と
- 現目標8 地域コミュニティを支える産業を大切にするまち を一本化

■基本目標12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち  
※対応する現目標6 市民の雇用が安定的に確保されるまち

基本目標10 強みを生かした産業が北海道の経済をけん引しているまち

■目指す姿 (案)

- 1 札幌市・北海道の強みである食、観光分野の産業が、時代の潮流を的確にとらえ、国内外からの新たな消費を生み出し、札幌市はもとより北海道の経済成長をけん引しています。
- 2 健康福祉・医療、IT、クリエイティブ分野の産業が、国内外から投資や人・企業を呼び込み、札幌市の新たな強みとして更なる成長を遂げています。

※新たな強みである産業に成長している という観点を追加

■私たちが取り組むこと (案)

目指す姿	市民・企業など	行政
1	(食) ・国内外への販路拡大【レベ】 ・付加価値の向上 ・地産地消の実践  (観光) ・観光コンテンツ創出【新規】 ・観光客誘致 ・観光客へのおもてなし	・食・観光分野の重点的な振興支援  (食) ・販路拡大支援 ・付加価値向上支援  (観光) ・観光コンテンツ創出支援【新規】 ・観光客誘致支援 ・MICE推進 ・受入環境整備
2	・新技術の活用による製品開発、付加価値の向上 ・地場の中小企業の発展への理解、協力	・健康福祉・医療、IT、クリエイティブ分野の重点的な振興支援【レベ】 ・新技術の開発支援

■当該基本目標に関する今後（継続を含む）の課題、新たな視点

- 新型コロナウイルスによる経済への影響を踏まえながら、これまで強みであった産業の振興とともに、新たな柱となる産業の育成・創出の促進が重要
- 北海道観光の拠点として付加価値を高め、国内外からの観光消費を拡大させることが重要
- 少子高齢化に伴う国内市場の縮小が予測されるため、海外進出等新たな需要の掘り起こしが重要

■第2回審議会でいただいたご意見

- アウトターの政策として、観光に思いきって振り切るという手もある。世界から人を呼び込んで消費してもらうことが重要。北海道、札幌に残された唯一の発展の道（原田）
- ビジネス等で生み出されたものがカルチャーになり、それが住んでいる人へのコミットメントにもなる。そしてカルチャーが新しいビジネスを生むような、循環があるとよい。  
(佐藤(大))

基本目標11 多様な主体と高い生産性、チャレンジできる文化が経済成長を支えるまち

■目指す姿 **案**

- 1 中小企業・小規模企業や商店街など、事業を営むもの全ての活動が活発で、地域のにぎわいや経済を支えています。  
※小規模企業の振興という観点を追加
- 2 様々な分野でデータや先端技術が活用され、生産性が向上し、人口減少社会においても持続的な経済成長を遂げています。  
※生産性の向上という観点を追加
- 3 行政、大学、民間組織等の関係機関が一体となり、起業家を育成・支援する体制や環境が充実し、誰もがチャレンジできる文化が根付くことで、多くのスタートアップが生まれ続けています。  
※チャレンジできる文化の定着、スタートアップの創出という観点を追加
- 4 様々な企業が数多く立地、創業し、スタートアップの集積や産学官連携、国内はもとより海外の企業等とも活発な交流を行うことにより、新たな価値が創出され続けています。  
※スタートアップの集積、海外との交流をより強化していくという観点を追加

■私たちが取り組むこと **案**

目指す姿	市民・企業など	行政
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の店舗の利用</li> <li>・地域の商店街活動への積極的な参加</li> <li>・新しい技術や製品開発への挑戦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営基盤の強化に向けた支援</li> <li>・商店街活性化に向けた支援</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データや先端技術の活用【新規】</li> <li>・組織の垣根を超えたデータ等の連携【新規】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データや先端技術の導入支援【新規】</li> <li>・生産性向上への支援【レベ】</li> <li>・民間とのデータ等の連携【新規】</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ・エコシステムへの積極的な参画や協力により、多くのスタートアップを創出【新規】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアップ・エコシステムの構築、発展支援【新規】</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内及び海外の企業等との積極的な交流</li> <li>・新事業や新分野への事業展開</li> <li>・新たな技術や製品の開発に向けた産学官連携の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業立地の促進</li> <li>・創業支援</li> <li>・新たな技術や製品の開発に向けた産学官連携の促進</li> <li>・海外展開支援</li> </ul>

■当該基本目標に関する今後（継続を含む）の課題、新たな視点

- 有事に柔軟に対応し生産性の高い中小・小規模事業者の創出、創業の促進、地域の商業活動の活性化に資する支援などを行い、少子高齢化の進展に対応した持続可能な地域経済を構築する必要がある。
- 産学連携のさらなる推進により、先端技術・研究を活用したイノベーションの創出や市内産業の競争力の強化を図り、理系人材の定着が促進される魅力的な企業を創出することが重要。
- スマートシティの実現、オープンデータなどによる産業の高度化や地域の課題解決が重要。

■第2回審議会でのいただいたご意見

- まちづくりの基本目標について、新しい生活スタイルやビジネスが創発しやすいまちづくりを目指す（ビジネス創造プラットフォームの実現）（山本（強））
- 勇気と信念をもって起業したスタートアップ企業が発展するには、多くの仕事をこなし、雇用し、人を育て、継続することが重要である。札幌の経営者は、未来を創造する「出る杭を打つ」ことなく、それらの企業を積極的に支え育て、「出る杭を伸ばすまち」づくりが出来る、未来志向の経営者でありたい。未来の産業を興し牽引する人材を育てることに、今こそ産学官で力を合わせる必要がある（山本（一））
- 若者の道外流出について、若者は、経済活性化において大きな人的資源であり、道外への若者の流出について、札幌、道内での産業基盤の弱さが起因していることは、多くの委員の皆様がその認識を共有しているところだと思ふ
- これまでもビジョンの中に若者の流出についての記載はあったが、例えば先端技術産業の製造部門の誘致を目指すことや、起業家精神の育成、札幌の強みを生かした産業を興していくなど具体的な対策が見えていなかったように考える。
- スタートアップ拠点として、行政からもしっかりとサポートが必要。若者の流出を防いだり、新しい産業を創造する、起業を目指して札幌に移住することにつながる。様々な教育機会を通じて起業家精神を育むことも大事。（中田）
- スタートアップは札幌市としては強みかもしれないが、外から見たときに強みと言えるのか。スタートアップのレベル感を引き上げた方がいいと考えている。SWOT分析を興味深く見せてもらったが、海外から見ても札幌の強みであると言えるようなものに取捨選択しても良いのではないかと。福岡など、具体的なライバルを意識したビジョンになると良い（木村）

基本目標12 雇用が安定的に確保され、多様な働き方ができるまち

■目指す姿 (案)

- 1 安心して働ける魅力的な雇用が安定的に確保されるとともに、企業も必要とする人材を確保できています。  
※企業の人材確保という観点を追加
- 2 女性、高齢者、障がい者など多様な人材が持てる能力を發揮し、誰もがやりがいや充実感を得ながら働くことができています。  
また、高い専門性を生かすことができる職場で、若い世代を中心とした幅広い年代の人材が活躍しています。  
※「女性、高齢者、障がい者、外国人等の多様な人材の雇用」に加え、「大学生等、専門性の高い人材の雇用」を包含して記載
- 3 働きやすい職場環境が整備されるとともに、多様で柔軟な働き方や、仕事と生活の調和のとれた生き方が実現しています。  
※多様な働き方（テレワーク等）という観点を追加

■私たちが取り組むこと (案)

目指す姿	市民・企業など	行政
1、2、3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業能力の向上や自己啓発</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスへの理解と実践（長時間労働の解消等）</li> <li>・働く環境の改善（テレワークの導入等）【新規】</li> <li>・多様な人材の雇用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業能力の向上や自己啓発に向けた支援</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスへの理解と実践に向けた支援</li> <li>・働く環境の改善に向けた支援</li> <li>・多様な人材の就労支援</li> <li>・人材を必要とする業界への支援【新規】</li> </ul>

■当該基本目標に関する今後（継続を含む）の課題、新たな視点

- 誰もがチャレンジでき、働きやすい社会のあり方を検討することが必要
- 若者の道外への転出超過は続いているため、地元企業の魅力アップ等により、若者の地元定着を図る取組の強化が必要
- 就労側にとって安心して働ける雇用先の確保と、企業側にとって必要な人材確保の取組を一体的に進めることが必要
- 新しい働き方（テレワーク等）が社会に浸透していることが重要

■第2回審議会でもいただいたご意見

- 今の若い人たちはITを自在に使こなしている人が多いので、それを札幌でビジネスとして地元を離れず定着できる仕組みや企業も増えると良いと考える
- 札幌は新しいチャレンジができる都市だと確信している。多様な人へのチャンスの種をたくさん撒き続けていける札幌を望む。アフターコロナが変革の時と捉え、SDGsも含め、まずは知ることから意識を変えろという重要性を提案する（牧野）